

# 5か年加速化対策による愛知県河川事業の成果

青木川放水路は、流下能力が低く、浸水被害が多発している青木川、般若川及び五条川支川((準)昭和川、(準)奈良子川)の洪水調節を行い、浸水被害の軽減を図っている。1981年より青木川放水路整備計画を進め、先行整備した約5.2kmを供用し、5か年加速化対策予算を活用することで全区間を完了する。

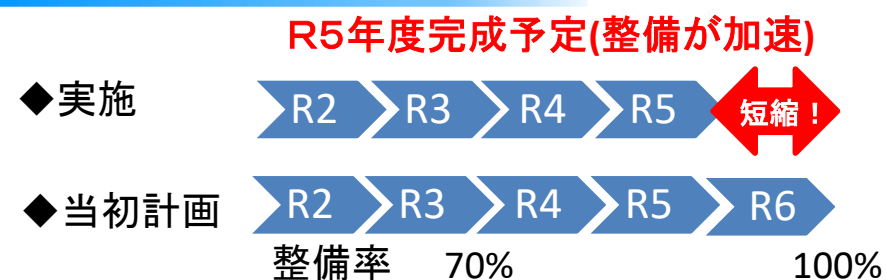
## (1) [対策名]1-1 流域治水対策(河川)

- ◆事業名 防災・安全交付金  
(総合治水対策特定河川事業)  
あおきがわ
- ◆河川名 青木川放水路  
(丹羽郡大口町竹田地内始め)

## (2) 事業概要

- ◆目的: 治水安全度の向上
- ◆総事業費: 8億円  
(整備計画総事業費87.2億円)  
(5か年加速化対策事業費: 8億円)
- ◆整備内容: 放水路整備 L=0.7km  
(昭和川～奈良子川区間)

## (3) 事業スケジュール及び効果



- 【効果】
- 奈良子川からの洪水を毎秒3m<sup>3</sup>放水路へ流すことで、五条川への流入量を減少！！  
(1時間あたり10,800m<sup>3</sup>\*の洪水を処理することが可能)  
\*25mプール20杯分の水量
  - 五条川を始め新川上流域の早期浸水被害軽減が可能！！